

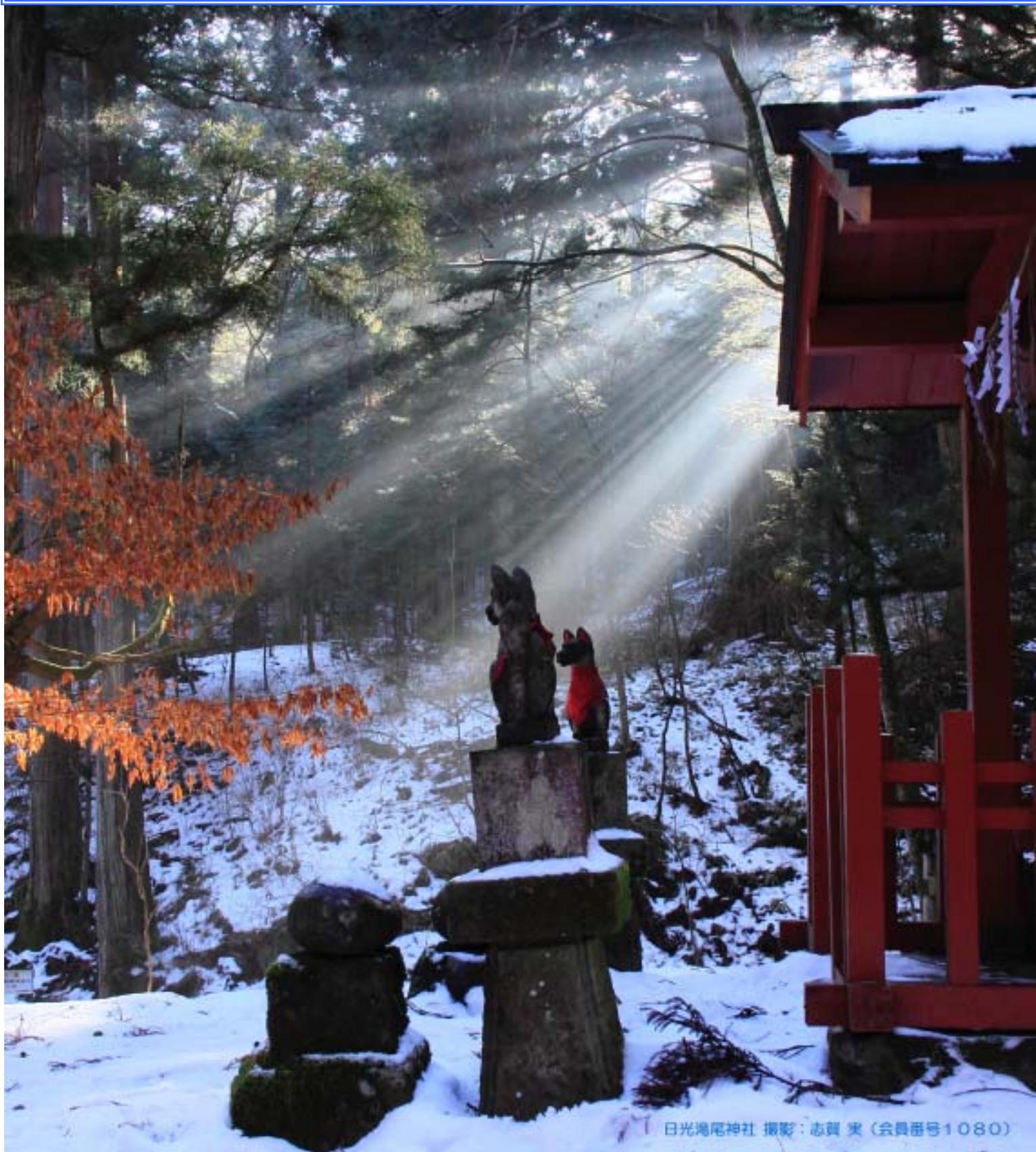
シャープ社友会 栃木支部会報

第29号

nikko

2012.1.1 発行
発行責任者 増田武司

<http://www.tcg-syayu.co-site.jp/index.html>



日光湯尾神社 撮影：志賀 実（会員番号1080）

二〇一二年を迎えて

シャープ社友会 栃木支部長 増田 武司



新年明けましておめでとうございませう。

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか、充実した毎日を送られていることお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、私たちも忘れることの出来ない未曾有の大地震が発生した東日本大震災を体験しました。

栃木支部でも家屋が全壊された方をはじめ多くの会員の方が被災されました。今回の震災に対して、社友会としてどう対応するかを検討し、栃木支部として独自に義援金を募ることにし、支部会員の皆様に善意の浄財を募りました。集まった義援金は下野新聞社を経由して日本赤十字社へ送りました。ご賛同いただきました多くの会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

そして十月には、信州の善光寺と北向観音を巡拝するバス旅行を実施しました。当初は四月に花見を予定していましたが、大震災の影響で自粛ムードの中、そしてオイル・パニックの最中なので急遽中止した経緯がありました。支部会員が顔を合わせ、親睦を深める貴重な機会が必要との判断で日帰りの親睦旅行を実施し三十二人が参加され旅行を楽しましました。

さて今年一月には、すでにご案内の通り、鬼怒川温泉での一泊の支部賀詞交歓会を例年の通り実施

します。

また、春には昨年中止した「花見とバーベキュー」も計画し、引き続き親睦の行事を計画しますので多数の方のご参加をお願いします。

また、私たち社友会もSGC活動（シャープ・グリーン・クラブの活動）に参画し社会への貢献、ボランティア活動にも取り組んでいます。これを継続し更に拡大したいと考えています。

五月には定期総会を開催します。新年度の活動計画には、会員皆様のご希望、ご意見を反映したいと考えていますので、所属の班の幹事さんか支部事務局にご提案いただければありがたいと思います。

今年も社友会の運営に会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

シャープ労働組合 栃木支部

執行委員長 印南 幸裕



新年あけましておめでとうございませう。社友会栃木支部の皆様方には、希望に溢れた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃は、増田支部長をはじめ多くの皆様に労働組合の活動に對しまして、ご理解とご協力を頂いていることに心より感謝申し上げます。

昨年の3・11東日本大震災では、栃木県内でも停電、断水、道路の亀裂、ガソリン不足による通勤難、生活必需品の不足など県北を中心に大きな被害を受けました。矢板の事業所内でも水道が断水し昼ごはんや寮生の朝ごはんが作れず、おにぎりの提供などで約2週間頑張っていたきました。また、食料品を手に入れようとしても、なかなか欲しいものが手に入らない状況が続きました。住宅関連の被害は、シャープの従業員やOBが沢山住んでいる地域に集中しました。加えて原発の放射能への不安と恐怖感で職場がパニック寸前の状況になることを経験しました。

このように大変な状況の中で「中村ひさのぶ」副委員長の3期目の当選を目指す統一地方選がスタートしました。震災で大きな被害のあった矢板の市民感情に配慮をしながらの選挙戦でしたが何とか二位で当選することが出来ました。社友会の皆様をはじめ多くの方々に暖かなご支援を頂き心より感謝申し上げます。

シャープ社友会の益々の発展と会員皆様のご健勝と今年皆様にとつて良い年になりますようにご祈念申し上げます。



兼 AVシステム事業統轄 AVシステム事業本部長

執行役員

中村 恒夫



新年明けましておめでとう
ございます。

シャープ社友会栃木支部の
皆様方には、ご健勝で幸多き新
春を迎えられたことと心より
お慶び申し上げます。

日頃は、シャープ製品のご愛用、並びに当社社員に
対する温かいご指導、ご鞭撻を賜り、会社を代表して
厚く御礼申し上げます。

昨年は東日本大震災やタイの大洪水といった大災
害が発生し、また、日本ではアナログ放送が停止し、
デジタル放送へ切り替わるなど、市場環境がめまぐる
しく変化する激動の一年でありました。

その中で、AVシステム事業を振り返りますと、国
内においては、六月に置き場所を自在に変えて視聴ス
タイルを広げる20型の「フリースタイルAQUOS」
を発売、九月には32型と40型、十月には60型を発売
し、ラインナップを充実させて、新たな需要創造に取
り組んでまいりました。また、輝きの表現力と高コン
トラストを実現する『メガブライトネス技術』を搭載
した70型「AQUOSクアトロ3D」や業界で初
めて『スカパー!HDチューナー』を搭載した「AQUOS
ブルーレイ」など、オンリーワン商品の創出を
進めてまいりました。

海外においては、米国で四月に70型のAQUOS
を、十月には80型のAQUOSを販売するなど、当
社が得意とする60型以上の販売を強化し、大型テレ
ビ市場で大きくシェアを拡大しました。さらに、グロ
ーバルで『大型テレビはシャープ』とのブランドイメ
ージを確立すべく、中国や欧州など全世界で大型テレ
ビの販売拡大に注力してまいりました。

さて本年度は、国内においては、液晶テレビやBD
レコーダーの需要拡大が期待できない中、他社との差
別化を図る大型テレビやフリースタイルAQUOS
の販売を強化するとともに、BDレコーダーの進化に
取り組み、国内市場での更なるシェア向上を図ってま
いります。また、AQUOSやBDレコーダーとスマ
ートフォン、タブレット端末とのワイヤレス連携、ネ
ットワーク連携などにより、これまでにない便利な使
い方を可能にする商品など、新規カテゴリー商品の創
出によって新たな需要の創造に取り組んでまいりま
す。

一方、海外では、アジア・新興国の市場の拡大が続
いていることや、米国や中国を始めとして大型テレビ
市場が急拡大しているなど、当社にとって大きなチャ
ンスが訪れています。各地域、各国のニーズや特性に
フィットした商品を創出し、世界5ヶ所に保有してい
る生産拠点の優位性を発揮した地産地消のモノづく
りを展開し、海外事業の拡大に取り組んでまいります。
日本及び全世界の経済環境は、早いスピードで変化
しておりますが、この変化をチャンスと捉え、AVシ
ステム事業本部/AVシステム開発本部の英知を結
集し、より一層の事業拡大に取り組んでまいる所存で
す。

社友会の皆様方におかれましては、AV商品に加え、
太陽光発電システム、サンビスタ、LED照明、プラ
ズマクラスター搭載商品、スマートフォンなど弊社製
品への一層のご愛顧並びにご支援を賜ります様、よろ
しくお願い申し上げます。

最後に、シャープ社友会栃木支部の益々のご発展と会
員の皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と
させていただきます。

AVシステム事業本部

総務部長 鶴田 七郎



社友会栃木支部の皆様、新
年明けましておめでとうござ
います。

昨年七月二日付にてAVシ
ステム事業本部総務部長を拝
命しました鶴田でございます。
常日頃より、栃木事業所へのご支援を賜り、厚く御礼
申し上げます。

本年も皆様のご協力を頂きながら地域に愛される
事業所づくりに取り組んで参りますので、引き続きご
指導を賜りますようお願いいたします。

私はこの矢板の地で初めての新年を迎えたところ
ですが、昨年を振り返りますと東日本大震災やタイの
洪水に加え、これまでにない円高、株安など大変厳し
い経営環境に見舞われました。

そうした状況下、様々な地元会合やイベントに参加
させて頂く中で、近隣の皆様やOBの皆様より当社を
応援する数多くの励ましのお言葉を頂戴し、当事業所
は地元の皆さんや諸先輩に支えられているというこ
とを改めて実感し、総務部長としての重責を胸に身の
引き締まる思いを新たにしているところございま
す。

この思いのもと皆様のご期待に添えるよう本年も
地域との融和に尽力して参る所存でございますので
昨年同様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し
上げます。

清々しい新年を迎え、社友会栃木支部の皆様のご健
康とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

古希を迎えて

古希雑感



会員番号 一九九一
増田 武司

七月末で無事に古希を迎えることが出来ました。父が六十二才の時、脳内出血で他界し自分も血圧が高かったので、古希まではどうかなと心配をしていました。日本人男性の平均寿命は昨年では七十九。六才と八十才まであと一歩のところまでになってきました。一方、平均余命を見てみると、昨年の七十才では十五。一才となっていて、この年代だけを捉えると、男性でも八十五才が平均寿命ということも言えます。

また百才で現役のお医者さんが活躍しています。これも国のデータによると、今年の九月に、全国で百才以上の方が約四万八千人弱居られるそうです。来年には、五万人になるのは確実と予想されています。

アンケート調査によると、「あなたは百才まで生きたいと思うか」の問いに対し、「ノー」と答えた人は約六十五%もいて、そしてその理由を聞くと、「病気になるまで」とか「親族に迷惑をかける」という答えが半数近くを占めたそうです。

自力で生活できる年齢を健康寿命といいますが、日本人は平均寿命より七〜八年低いというデータがあるそうです。

私も長く寝込まないで、平均寿命と健康寿命の差を少しでも無くするよう、元気に行動し、笑い、そして感謝できる毎日を過ごしたいと思っています。

「古希迎え趣味に明け暮れ去年今年」



会員番号 一九九六
山本 将司

七月末で無事に古希を迎えることが出来ました。父が六十二才の時、脳内出血で他界し自分も血圧が高かったので、古希まではどうかなと心配をしていました。日本人男性の平均寿命は昨年では七十九。六才と八十才まであと一歩のところまでになってきました。一方、平均余命を見てみると、昨年の七十才では十五。一才となっていて、この年代だけを捉えると、男性でも八十五才が平均寿命ということも言えます。

この句は趣味の俳句会で今年一月に発表した作品です。元々園芸には興味があり、地域社会にそれに関連した趣味の会が多く有ることを知り「山野草会」「斑入り植物愛好会」「さくらそう会」等に次々入会しました。

育てた作品の展示会は毎年十回程度あり専門誌にも自作品を数回掲載して頂き、今は一〇〇〇鉢を越えて手入れの為一泊旅行にも行けない現状です。それとは別に近くの老人ホームの玄関フロアに365日自分が育てた草花等を四年目になりますが十鉢程度常時飾らして頂き、デイサービスを含めた利用者と職員とのコミュニケーションのツールとして喜ばれています。

その他タイトルにある趣味としての「俳句」以外に「水彩画」「植物画」「陶芸」「グランドゴルフ」「バードゴルフ」「ボランティア」等にも積極的に参画し各会員との交流を楽しんでいます。

タイトルのように現在色々な事に手を出し、毎月スケジュール表には空白



会員番号 二〇二三
西岡 愷二

退職後十年を振り返ると歳を重ねる毎に体力、気力の衰えを感じます。

煙草は止めようと思いつながら止められず五年程前新幹線の最後尾の座席数が半分の喫煙車に乗り込んだ折、自分自身煙草を吸っていたが車内が余りにも煙草の臭いが酷く、これは本当に体に悪いと実感しこれがきっかけで止めることができました。

煙草を止めると食が進み太りだし脂肪肝と言われ、又、メタボリックシンドロームが心配になり体重を三kg減量する事を決意しウォーキングを毎日実行して減量に成功し脂肪肝は無くなりメタボも非該当になりました。

これも健康について、ある講演で健康を保つ秘訣として、壹、拾、百、千、万、の数字を使って教わった事を思いだし少しずつでも実行した結果とされています。

壹…一日一回、汗をかく
拾…一日十回、深呼吸をする
百…一日百字、字をかき、笑う
千…一日千回、噛む
万…一日一万歩、歩く

現在もこの言葉を思い出し健康維持の為、毎日、ウォーキングをして、日記も書く様になりました。これからも健康に留意し、社会奉仕、家族サービスを続けて行きたいと思っています。



会員番号 二〇二六
只友 将弘

定年後の十年はアツと言う間にすぎた感じがします。定年前から始めていた趣味の写真を通して、多くの先輩や友人、そして仲間と触れ合いながら充実した毎日を過ごしています。

社友会のカメラクラブの幹事と、矢板フォトクラブの会長、それに西那須野写真愛好会の代表と三つのサークルの代表として、例会や撮影会の企画運営

写真展の開催や矢板市と西那須野地区の文化協会との係わり等、気の休まる時が無い状態です。お陰様で、七十歳になったと言う実感も沸いてこない状況です。

私の尊敬する師の著書に『いわゆる若さとは、決して年齢によって決まるものではないと思うし、その人の目標に向かって、たくましく生き抜く情熱の炎によって決定されていくと思っている』と言われています。

私も、生涯『青春』の気概で、趣味の写真を楽しみながら『挑戦』の日々を過ごして行きたいと念願しています。



会員番号 二〇四二
前野 雄一

この年齢でこそ持てる夢がありました。

ゴルフでエージシユートを達成したい。達成した方の話を複数耳にしていますが、私には夢です。

できる可能性を客観的に考えてみました。

平成二十三年のベストスコアー80。

8年前からの約300回プレーしたデータを見てみると、毎年1.5ベストスコアーは良くなっており、まだ上達の可能性は残している。

今後毎年1.5は無理として、平均1.0の上達で75歳で達成。

これが最速のストーリー。

70台のスコアーになると上達も頭打ちとなるので喜寿のころには77を出す。出来てこの程度か。瞬間最大ベストスコアーなので無理ではなさそうだ。

一番の問題はその年まで体が動くか、飛距離を維持できるか等運動能力にあり。

夢を実現するため節制をし、健康診断は欠かさず受

診し、せつせとウォーキングなどを行い、週二回は練習場に行き週一ゴルフに励む。

目標を持って取り組めば、飽きずに継続でき次の節目喜寿を元気に迎えられるのではと思っています。



会員番号 三二一六
田中 誠

古希のお祝いわざわざお届け頂き、ありがとうございます。御座います。

さて、七十年間の思い出ですか？印象に強いのは、今から約五十年前の旅行の思い出ですね。

「隠岐の島」への旅行です。「沖ノ島」ではありませんよ！まだ、ペイペイの頃の夏休みです。

職場の人達と島根県の隠岐の島、本州から50km、後醍醐天皇の流された地です。

なぜ？そんな所へ行ったのか不思議ですよ。実は同僚の広島良三氏の故郷が隠岐の島でそこに行こうとなった訳です。

行きは電車で、帰りは飛行機で帰ってきたと記憶しています。行きの電車ではマージャン台を持ち込み島根に着くまで、マージャンをしていました。船に乗り換えいよいよ到着です。

隠岐の島の海水は透明度が高く海の底まで見え、魚が泳いでるのが見えるようでした。

早速翌朝早くから、小さな漁船に乗り、小海老を獲りました。この小海老を餌に鯛つりをしました。

この時、「海老で鯛を釣る」と言う事が本当なんだと知りました。

民宿に戻り朝食に獲り立ての魚のお造り、焼き魚など、これほど美味しいものを食べたのは初めてです。空も・海も・空気も全てが最高でした。今も素晴らしいさは忘れられません。

【再掲載】



会員番号 一七九七
城本 昭

昨年(二〇一〇年)十一月に古希を迎えることが出来ました。年月は現役時代に比べ、この十年間は本当に早く過ぎた感じがします。男性の平均寿命は約八十歳ですが、いくら長生きしても人に介護される生活は絶対避けたいと思っています。

定年後、自分なりに充実した日々を送る努力をして来た積りですが、三月十一日の大震災に遭遇するとは全く夢にも思いませんでした。千年に一度とか明治時代以来初と言う大震災に遭遇した事を教訓に日々の生活習慣を見直し、二度と来る事のない一日を大事に過ごしたいと思えます。(天災は忘れた頃にやってくると言われます。油断大敵です。)

今日の自分は過去の自分の結果であり、明日の自分は今日からの自分の生き方で決まります。

毎日心掛けていることは、①早起きの励行(午後九時には寝床)②朝十分間ラジオ体操③毎日五十分のウォーキング④食事のバランス⑤頭の体操。そして趣味(ゴルフ、カラオケ、旅行)を通じ出来るだけ多くの人と親交を深めたい。

これからの人生はもう七十歳ではなく、また七十歳だと何事においてもプラス思考で、健康に留意し充実した一日一日を送るよう心掛ける所存です。

(お詫びと訂正)

前号(第二十八号)に掲載時、縦線部分の文節が抜けてしまい、寄稿者(本人の最も重要とする意図を欠く内容となったこと)をお詫び致しますとともに、ここに全文を再掲載させていただきます。

幹事コーナー

第一ST班幹事 石山 武士



「水清らか で 緑豊か、歴史と文化のいきづく街」これが第一ST班 16名の

会員が在住するさくら市と高根沢町です。環境は素晴らしい所と思います。

私は引退して早六年になりますが、趣味の野菜作り、ゴルフ、溪流釣り等にて時間を費やしている状況です。

野菜は約十五品種程度作り大成功を収めていますが、今年には連作障害が発生し（キュウリ・大根・ジャガイモ）近所の農家の方に対処方法等指導いただき対応中です。

ゴルフは気の合う仲間と月2〜3回行っています。目標は一ラウンド90でドライバーで誰よりも一歩前へ行くことです。（年齢とともに飛距離が落ちているのが気がかりです）

今年是最悪の溪流釣りでした。三月十一日の地震で溪流沿いの道が通れず、また、大雨で流木が多々発生しエサを打ち込めない状況でした。

これからも健康に留意し趣味を長く続けて行きたいと思っています。

長峰公園について

第四班幹事 中嶋 宗孝

私達の第四班（会員八名）は矢板市針生地区に属

しており、長峰公園のすぐ西側にあります。長峰公園は古くからつつじの名所として親しまれ、市の憩いの場となっています。

四月には桜の大き木が美しいピンク色に染まり、続いて五月連休の頃になると、公園斜面はつつじの鮮やかな橙色に覆われます。山つつじはもとより、久留米つつじ・赤やしお等いろいろな種類が楽しめます。暖かな季節と重なり多くの人が訪れます。



地元の人達は一年を通じ、犬の散歩・ウォーキング等夫々の目的・楽しみに合わせて、気軽に利用されています。又、長峰公園の北側には、松尾芭蕉も通ったと言われる日光北街道が一部残っています。この詳細は前回28号で前幹事さんが詳しく紹介されています。

70年代頃から住宅地として拓けてきた長峰公園西側ですが、当時の世帯主の方々も今では定年を過ぎた人が多くなり、その子供さん達は家から離れて就職している人が多く、地域の子供達をあまり見かけなくなっていました。三月の大震災で家を離れたご家族もおられます。

子供達の賑やかな話し声が聞かれなくなったことは寂しいものです。高齢化社会の一端を垣間見る気がしますが、地域内の中老年の人達は、趣味に仕事にと夫々活躍されており、その元気さには驚かされます。

お互いが支え合い、又賑やかさを取り戻し、住みやすい街になって欲しいと願っています。

更に交流を深めるために

第八班幹事 中倉 勝利



当班の地域特徴等については前任者にて前号でご紹介したばかりですので、ここでは恐縮ながら自分のことを書かせていただきます。

社友会栃木支部に入会して早くも六年が過ぎましたが、今年から二年間、八班の幹事を務めることとなりました。

私達が住んでいるところは、ハッピーハイランドと呼ばれ、昭和四十年代の高度成長期に造成された団地で、住人は全国各地から集まっており、地域との交流は当初からの課題でした。

子育て時代には学校行事を介して、何とか地元との付き合いがありました。会員の中には多年にわたり海外や関西方面に出かけられた方も多く、地元と疎遠になっております。

小生もその中の一人で、これからは意識して交流を深めるべく、行動する必要があると考えました。その一環として「そば打ち同好会」に参加しています。今年も、行政区の敬老会で手打ちそばを振る舞って皆さんに喜んで頂きました。

先日十月二十三日には、毎年秋に地区運動会が開催されますが、今年は大ラウンドゴルフになり、小生も初めてでしたが参加しました。会員も数名の参加者がありました。この様な同好会以外の行事にもできる限り参加する事が、より交流を深める為に大切な事のように思います。

社友会行事を始め、行政区行事へは、皆を誘って積極的に参加していきたいと考えます。

自然に恵まれた我が地域

第十二班幹事 谷口 通



会員の増加に伴う各班の会員数のばらつきを調整するため班の再編成が行われ、私達12班の今年度の会員数は前年度の7名から14名に倍増となりました。

従来の泉、伊佐野地区に加え、長井、山田、土屋地区が編入され、南は県道30号矢板那須線の下太田交差点から北は那須塩原市との境界までの約8km、東は国道4号線から西は県民の森までの約10kmと、かなり広い地域になります。

域内の主要な道路として、南北に県道30号矢板那須線が矢板から那須街道と交差する広谷地交差点まで走り、東西には県道272号県民の森矢板線が下太田交差点を起点に、長井のりんご園を見ながら更に走ると寺山ダムから県民の森へと案内してくれます。

東西にはもう一本県道56号下塩原矢板線があり泉交差点から約15kmで山の駅たかはらと高原山の中腹に広がる日光国立公園八方ヶ原へ、峠道を更に進めば塩原の温泉街に通じています。

山の駅たかはら周辺では熊と遭遇したり、運が良ければ鹿の親子に出会ったりと、市街地では味わえない体験が出来ます。

域内には矢板カントリークラブ、メイフラワーゴルフクラブと二つのゴルフ場や県民の森、八方ヶ原寺山ダム等があり、自然に恵まれた風光明媚なところです。

矢板市北部の特徴はと考えると、山に囲まれ田んぼが多く新興住宅街が少ないせいか、代々当地を故郷とする会員が多いことです。

若者自立支援の活動について

第十六班幹事 溝口 清



十六班の幹事を拝命してから半年になりました。大田原市西部の上石上、

下石上、薄葉、実取、荻野目、親園、佐久山などが班のエリアです。班の皆様とは電話やメールでの連絡が多く、直接お会いすることが少ないのですが、今後ともご支援の程よろしくお願い致します。

定年後、七年が過ぎた現在、健康や生きがいに関わるいくつかの活動をしています。その中のひとつ、「若者自立支援の活動」をご紹介します。

定年後に産業カウンセラー、キャリアコンサルタントの資格を取り、それを活かして週二日、西那須野にある「県北若者サポートステーション」という所で、さまざまな困難を抱え、働きたいと思っているのに一步を踏み出せない若者達の自立を支援する相談に当たっています。また、仲間と一緒に大田原で「明日葉村」という若者とその家族を支援する組織も立ち上げ、活動をしています。

高齢者福祉に関しては、人々の意識が向っていますが、日本の未来を担う若者のなかに困難を抱えた若者が多くいることについては余り認識されていません。困難を抱えた若者には、いろいろな体験を通して、人と関わる力や就労する力を身に付けるための支援が必要だと思っています。

社友会の皆様が持つていらつしやる力を若者自立支援に少しだけお貸し下さることで、さぞや大きな力になることでしょう。また、皆様の周りの若者に、いつもよりちよつと多く意識を向けて頂けませんか？いつもと違う世界が見えてくるかも知れません。

一般投稿コーナー

木工模型の作品

矢板 利一



定年後の人生を模索している中で、法隆寺の五重塔のバランスのとれた美しさに感動しまして、この建物の模型に挑戦しようと、構造や継ぎ手や詳細な情報収集から始めたのが13年ぐらいい前でした。

なんとか作れるまでの図面にし35分の1で、土日の休日では始めて三年かかり一基完成しました。

その後も色々な大きさの五重塔を作ってきました。現在は20分の1(高さ1.6m 幅90cm)の庭に飾れる五重塔を製作中です。

その他家庭に飾る神棚も製作出来るようになり、何軒かの神棚を納めました。その後 ある会話から宝くじに運が来る様くじを収めておく神棚を新たに創出したところ、好評で今も作つてるところです。今までの自分の作品をここに紹介したいと思います。



神棚



くじ収納神棚



五重塔

ボランティア

“ふるさとガイド”に参加



会員番号 二二八〇

栗田 雄一

現在、ふるさとの歴史的文
化財や史跡等をボランティア
で案内する会に参加しています。この会は、「矢板
ふるさとガイド協議会」と言い、ボランティア精神
をもって、歴史、文化財、史跡等を案内すること
により、多くの人に「ふるさとの魅力と良さ」を伝え、
矢板市の活力と発展につなげることを目的に活動
するものです。

平成二十一年四月～二十二年二月に開催された
矢板市主催による『矢板ふるさとガイドの養成講
座』を受講し、日ごろ何げなく見ていた地元の文化
財や史跡等の歴史を知り感動すると共に矢板に住
みながら無知であったことを知らされました。

歴史や文化財、史跡等については個々人によって
興味の有無があると思いますが、全国的な観光名所
となっている社寺仏閣や城等の史跡、或いは例えに
なりませんが、幕末から明治維新にかけての国づくり
への変革や、いわゆる表舞台になる所で活躍した偉
人と言われる人々（西郷隆盛、坂本龍馬、勝海舟、
伊藤博文、山縣有朋等々）などは、学校教育や書籍
等により良く知られていることと思います。しかし、
国内各々の地域でも「我が郷土の発展のため」それ
ぞれのやり方で取り組み、活動し尽力した人や歴史
が必ずあり、自分の住むふるさとの歴史や文化財を
知ると共に、伝えていくこともより大切なことでは
ないかと感じました。このことから、「矢板市発展
の礎となった歴史的文化財、史跡等」を、ガイドす
ることにより市民の皆さんはもとより、矢板市に來
られた多くの方々にも知ってもらって、「矢板の魅力

として後世に伝えることを目的とする「ふるさとガ
イド」活動は、自分なりに大変良いことだと思つた
で、ふるさとの一員として一助になればとボランテ
ィアによるガイド活動に参加しています。

平成二十三年四月二十九日には、地場産業の振興
と市内外の交流の拠点として、矢板市の魅力を発信
する「道の駅やいた」（県内19番目の道の駅）がオ
ープンしました。「つつじの郷交流館」の事務室に
は、観光を通して矢板の良さを紹介する観光案内等
の窓口が設置され、当協議会に協力要請がある時に
は会員が分担して取り組んでいることから、自分と
しても何か役に立てればと思ひ、歳も考えず応対に
あたっているところです。

（参考）

矢板の主な史跡、文化財としては、

- ・塩谷朝業ゆかりの「御前原城跡」や「川崎城跡」
- ・矢板発展と那須野が原開拓のための那須疏水をつ
くった矢板武の生家「矢板武記念館」
- ・坂上田村麻呂創建伝承の「木幡神社」（本殿と楼
門は国指定重要文化財）
- ・牛石伝説のある「寺山観音寺」（木造千手観音菩
薩坐像と両脇侍は国指定重要文化財）
- ・江戸時代中期の栃木県下の上層農家の民家である
「荒井家住宅」（母屋と表門は国指定重要文化財）

・明治の洋館と言われる「山縣有朋記念館」（民間
経営、入館料有り、専任学芸員常駐）
などがあり、また高原山麓には県民の森や八方ヶ原
温泉、鉱泉、田園風景、リンゴ園など自然環境に恵
まれています。



木幡神社

見学希望者は、矢板
市役所の商工林業観
光課（四三 六一一
一）に問い合わせく
ださい。

秋の日帰りバス旅行

遠くとも一度は参れ善光寺

社友会栃木支部では秋の懇親行事として長野善
光寺方面の日帰りバス旅行を実施しました。

2011年10月22日（土曜日）小雨模様
の矢板を7時半に出発した貸し切りバスは東
北道・北関東道などを経て一路信濃路へ。

途中、車窓からは色づき始めた山並みを遠くに
眼下では紅く色づいたリンゴを見ながらバスは別
所温泉の北向観音に到着しました。

南を向く善光寺に対し北を向く観音は現世の願
いに「利益ありとされ、各位それぞれの願いを託す
中、筆者はジャンボ宝くじの大当たりを祈願した
（笑）。

北向観音から一時間弱で善光寺に到着

お参り前に宿坊で一休み、昼食として用意された
料理でしばし舌鼓。食後、門前で記念写真と撮ると
きは雨もあがり青空になりました。

現世で「利益が得られる北向観音に対し、来世で
「利益が得られる善光寺」と言われますが、天気
の回復は早速北向き観音の「利益の現われか。

「お参りしたら極

楽往生が約束される
善光寺」と言われ、全
員が来世での安泰を
祈願

両参りを済ませ、一
行を乗せたバスは一
路矢板への帰路に就
きました。

副支部長

浜田記



修復のため覆われた善光寺本堂



パソコンクラブ

入会申込・問合せ先
 会長：仲谷 輝郎
 T e l : 028-621-8670
 事務局：山路 規生
 T e l : 0287-37-0125



パソコンクラブの紹介

入会金：不要です

年会費：2,000円

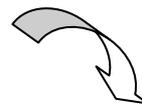
定例会：毎月一回 第一水曜日 午前10時～12時 於：社友会室
パソコンに関する情報交換や研修会の日程・親睦会の開催に関して相談を行います。

研修会：毎月一回 第三水曜日 午前9時半～12時 於：社友会室
特定のテーマは決めずに、各自の覚えたいことや問題点を持ち寄り、会員が相互に教え合う方法でやっています。 モットーは『優しく』と『親切』です。

過去、栃木支部会報「nikko」のページ編集を担当して、文書作成や写真・イラストの挿入など必要に迫られたことがテクニックの向上に繋がってきました。
その他、音楽（カラオケ）写真の縮小など各人のノウハウを披露して、新しいテクニックを勉強し合っていますので、是非、会場の見学をお待ちしています。

パソコンでは色々なことが出来ます

具体的には



パソコンだけで出来ること

【Wordでは】

- ◎面白い文字を使用したり、見やすいレイアウトを考慮した催しの案内状の作成
- ◎写真やイラスト入りの案内状の作成

【Excelでは】

- ◎自分流の住所録・行事・記念日の管理が出来る
- ◎個人の名前を入れて色々な成績表が作れる
- ◎表を棒グラフや折れ線グラフに出来る

【デジカメ画像処理】

- ◎写真の編集（明るさ・色合い・回転・モザイクトリミング）が出来る
- ◎写真の大きさを変えることが出来る

【その他】

- ◎ゲームで頭の体操

更にインターネットで出来ること

- ◎ガーデニングでの疑問が直ぐに調べられる
- ◎新しい料理のレシピを知ることが出来る
- ◎旅行先の名所や案内が調べられる
- ◎無料カラオケが出来る
- ◎全国の列車時刻が調べられる
- ◎住所が分かれば大体の場所が調べられる
- ◎全国の名物や安い訳有り商品が買える
- ◎無料でメールが出来る
関係の資料も一緒に送れる
- ◎TVの番組が、後で確認出来る
- ◎飲食店や色々な施設の割引券が手に入る
- ◎病気のことや名医を探すことが出来る

会員の紹介

アイウエオ順

安東 郁哉	青木 正和	浦川 正司	木村 正	佐藤 龍雄	中村 義雄
仲谷 輝郎	日置 久義	廣田 哲雄	平山 勝	古市 正昭	福本 英之
山崎 一義	山路 規生				



ゴルフ同好会



◇平成23年度前半の活動状況

3. 11の東日本大震災では、矢板地区も被災地域になりましたが、同好会コンペは当初計画通り5月度より開催できることとなり、下記4回のコンペを開催致しました。

本年度は、新規同好会メンバー5名が入会され合計77名と活性化の方向にあります。

第80回は記念コンペとして、個人戦(新ペリヤ戦)、チーム戦(ハンディ戦)を行い、盛り上がったコンペになりました。同好会では、今後とも適度な運動とメンバー相互の親睦を第一に楽しい一日になるよう活動を進めていきます。

1. イベント	第77回コンペ	第78回コンペ	第79回コンペ	第80回コンペ
2. 開催日	5月31日	7月25日	9月26日	11月28日
3. 開催コース	千成 GC	那須小川 GC	随縁 CC 鬼怒川森林コース	ロイヤル CC
4. 参加人数	45名	44名	45名	43名
5. 入賞者(ネット)				
優勝	前川 健治 (69)	内田 秀雄 (64)	間仁田 和久(73)	河越 泰博 (69.8)
準優勝	合田 研 (70)	原田 博美 (66)	前野 雄二 (74)	杉岡 和彦 (72.6)
3位	松本 隆 (71)	和田 元良 (68)	針原 修五郎(74)	原田 博美 (73.2)
4位	井村 俊郎 (72)	野澤 英男 (68)	徳田 義文 (75)	木村 修 (74.0)
5位	間仁田 和久(73)	辻 勉 (69)	安部 敏行 (76)	杉山 隆夫 (74.0)
ベストグロス	合田 研 (80)	徳田 義文 (76)	徳田 義文 (79)	安部 敏行 (80)

＜第78回 那須小川スタート前の集合フォト & 表彰式時の懇談風景＞



◇平成23年度後半のコンペ日程

イベント	開催予定日	開催コース
第81回コンペ	3月26日(月)	未定

《 新 会 員 募 集 》

- * 入会金: 不要、 年会費: 1,000円
- * 定例コンペ: 5月、7月、9月、11月、3月
- * 連絡先 幹事: 松内 幸男 ☎ : 0287-43-6153
e メール : matsuuchi.yukio@wind.email.ne.jp

歩こう会



◆歩こう会の案内

- ◇栃木県内又は近県の山、溪谷、湿原等の景勝地への日帰りトレッキング。
- ◇定例会として難易度が初心者向き、一般向きのコースで年6回実施。歩行時間3～4時間程度。
- ◇コース開拓と会員のレベル向上を目指し、やや難易度を上げた有志でのトレッキングを適時実施。

◆活動状況

☆7月定例会 長野県 霧ヶ峰高原
7月24日(日) 参加人数22名

☆9月定例会 日光 湯の湖～戦場が原
9月18日(日) 参加人数22名



◆平成23年度 例会実施状況と今後の予定

NO	実施月日	行先	備考
第74回	H23年5月22日(日)	足尾 横根山高原 (初心者向)	参加人数21名
第75回	" 7月24日(日)	長野県 霧ヶ峰高原 (一般者向)	" 22名
第76回	" 9月18日(日)	奥日光 戦場が原 (初心者向)	" 22名
第77回	" 11月13日(日)	群馬県 妙義山 (一般者向)	" 16名
第78回	H24年1月23日(日)	宇都宮 羽黒山 (初心者向)	(新年懇親会)
第79回	" 3月25日(日)	足利 天狗山 (初心者向)	

◆会員の募集

- ◇入会申し込み： 下表の歩こう会幹事まで連絡ください。
- ◇年会費： 2,000円(10月以降の入会は1,000円) 家族会員は不要。

◆現状会員数

◇会員人数：35名(家族会員人数：10名)

新規会員募集中です。興味のある方の入会を歓迎します。

●連絡先 松本 隆 TEL 0287-63-6458 / 090-3906-9193

e-mail fgysk613@yahoo.co.jp



カメラクラブ



☆ 紅葉の撮影会実施

秋の紅葉撮影会は、去る11月9日（水）実施し、奥日光の竜頭の滝や湯滝の撮影を堪能しました。滝とその周辺の黄色や赤に色付いた紅葉とのコラボレーションが素晴らしく、早朝にも係わらず、沢山の観光客で賑わっていました。



竜頭の滝へと注ぐ湯川の紅葉



湯滝の両岸を飾る紅葉

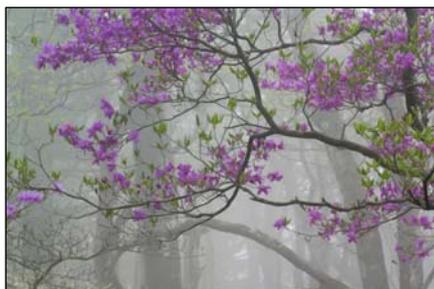


金谷ホテル周辺の紅葉

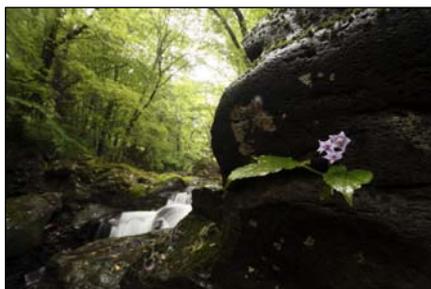
☆ 『矢板の四季』 観光写真コンテストに入賞！

矢板市主催の第30回『矢板の四季』観光写真コンテストに応募し、カメラクラブから3名が、入選及び佳作に選ばれ、表彰されました。

入賞した作品は、矢板市体育館で11月3日開催された『矢板の工業と物産展』会場に展示されました。



入選『霧に纏われて』 只友将弘



佳作『優しい季節』 志賀 実



佳作『花に埋もれて』 田代宏明

☆ カメラクラブ新入会員紹介



貝増弘行さん



大屋信幸さん

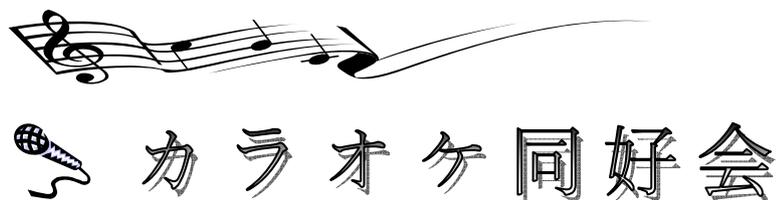
☆ 例会の様子



11/9 作品講評の様子

新会員募集中！

お問い合わせ先： 幹事 只友将弘 携帯 090-3248-7309



カラオケ同好会

<入会申込・問合せ先 >

会長：福永 勝行
(TEL) 0287-44-1109
事務局：青木 正和
(TEL) 0287-44-1332

♪♪ 新規会員 募集中 ♪♪

昨年3月の東日本大震災では、被災地は元より、矢板市でも、かつて経験したことが無い大きな揺れに遭遇し、自然災害の恐怖を感じました。更には、電気、水道が止まり、長・短期に亘り、不便な生活を強いられ、会員諸氏にも影響が及び、精神的にもショックを受けて、心から歌に集中する気になれない時期もありました。其の後も余震が頻発し、心理的にも安まらない中で、4月の定例会を中止した為、一時的に参加者が減りましたが、「継続とは力なり」で徐々に参加者も増え活動を続けることが出来ました。皆様のご協力に感謝致します。無力な私達ですが、歌を通じて自分自身を勇気づけること、被災地の皆さんには、より一層の頑張りを願い、募金等で支援を続けることで、一日も早い復興を願い、生きている喜びと前に進むことの大切さを歌で表現して行きたいものです。

好きな歌を口ずさみ、同好会の皆さんと会話することが、健康と長寿にも効果があると云われています。潤いのある日常にする為、是非、新規に参加される様、お願い致します。入会金、年会費は不要です。



8月 カラオケ喫茶「しま」にて



10月 定例会参加者



10月 コリーナ矢板にて



12月 忘年会の2次会

< 定例会活動状況 >		
実施日	実施場所	参加者数
1 / 11	コリーナ矢板	10名
2 / 8	カラオケ BanBan	9名
3 / 8	カラオケ BanBan	13名
4 / 5	東日本大震災の影響で中止	
5 / 10	コリーナ矢板	7名
6 / 14	コリーナ矢板	6名
7 / 12	コリーナ矢板	8名
8 / 9	カラオケ喫茶「しま」	11名
9 / 13	カラオケ喫茶「しま」	10名
10 / 11	コリーナ矢板	9名
11 / 8	コリーナ矢板	9名
12/1~12/2	鬼怒川グリーンパレス	10名



12月 カラオケ、パソコン合同忘年会参加者

♪♪ カラオケ好きの皆さまへ ♪♪

カラオケ採点機能で満点にチャレンジしてみませんか。
まだ、満点を出した事は、ありません。

『 今迄の最高得点 』

98点 / 100点満点 995点 / 1000点満点

< 同好会会員 >							
福永勝行	青木正和	城本 昭	古市正昭	村上五十六	島田次秀	三堂地時臣	手島正典
津田 功	安藤八郎	佐藤壽行	津久井秀一	山本正和	丸渕孝文	徳田 浩	浦川正司
福本英之	細川美生	小倉麗子	古市和子	泉ロトシエ	村上サダ子		《計》22名

新入会員紹介

(平成二十三年四月一日～九月十五日入会者)



会員番号 五四二一

柘植 修

一九五二年四月一日生

四月に定年退職をし、社

友会栃木支部に入会をさせていただきました。

また下手の横好きであるゴルフをなんとか向上をさせたく、ゴルフ同好会にも参加させていただいております。

普段の運動と足腰の鍛錬を目的に一日八〇〇〇歩を目標に近所の田んぼ道を歩いております。

今後社友会の皆様には何かとお世話になると思っていますので、よろしくお願いを申し上げます。



会員番号 五四三二

矢板 利一

一九五〇年四月十九日生

人間は平等に一日二十四時

間与えられています。会社生活の場合、八時間は仕事、八時間は睡眠、あとの八時間は自分の自由な時間の中で生活して来ました。

これからは、十六時間が自由な時間になるわけです。当然、生活のリズムが崩れてきますと同時に体調にも変化が出てくると思いますので、出来る限り以前の生活リズムを維持出来るような活動をしたと思います。



会員番号 五四三六

森 和義

一九五一年四月二十六日生

昨年四月、奈良大和郡山事

業所にて約七年間の単身赴任を終えて定年退職となり、この度、社友会に入会させて頂きました。

三月には、大震災があつたことと、七年間留守しておりましたので、地域の諸先輩方々との交流が重要と考え、地域のサークルに参加しております。今後、社友会の活動にも参加して参りたいと思

いますので、宜しくお願ひ致します。



会員番号 五四九八

大川 孝男

一九五二年七月十八日生

平成二十三年七月に定年退職後、社友会栃木支部への入会をさせていただきました。

退職後も元気を失せることのないように、近隣の山登りやウォーキング、最近では自転車など楽しみながら健康維持できるように心がけて続けていこうと思っております。

今後とも会員皆様に何かとお世話になりますが、よろしくお願ひ申し上げます。



会員番号 五五〇三

福田 貞男

一九五一年七月三日生

二〇二一年七月定年退職し、社友会に入会させていただきました。

これからも、有意義に人生を過ごせるよう、社友会の皆様と活動して行く所存です。今後共宜しくお願ひ致します。



会員番号 五五二〇

飯田 晋吉

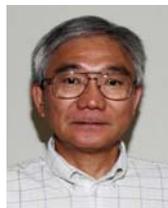
一九五一年八月一日生

八月に退職し、社友会に入

会させていただきました。

今後は、健康維持に努め、趣味による多くの方々との交流を深めたいと思っております。

皆様には、何かとお世話になるかと思っておりますが、宜しくお願ひ致します。



会員番号 五五二二

大屋 信幸

一九五〇年八月十一日生

八月に定年退職し、社友会に入会させていただきました。

新たな生活で五月病にならぬよう、現行の趣味である鮎の釣り、カメラ撮影を楽しんでいます。

今後とも宜しくお願ひ致します。



会員番号 五五二四

佐藤 弘

一九五一年八月二十二日生

諸先輩方のご指導のため

ものにて無事定年を迎え、そしてまた社友会の新人としてお世話になりますので宜しくお願ひ申し上げます。

毎日が日曜日の生活にも慣れてきました。在職中にはできなかったこと等を実行しながら毎日を有意義に過ごしています。

まだまだ序の口ですので、諸先輩方の処世術をアドバイス頂ければ幸いです。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



会員番号 五五二五

川村 昇

一九五二年八月二十四日生

平成二十三年八月に定年

を迎え、社友会の一員となりました。早速『歩こう会』と『ゴルフ同好会』に入会させていただきました。懐かしい諸先輩方のお世話になっております。

今後共、皆様方との友好の絆を大切に、有意義なセカンドライフを過ごしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



会員番号 五五六四

揚石 常夫

一九五二年九月十日生

友会に入会させていただきました。昨年九月に定年退職し、社

友会に入会させていただきました。今後、社友会の皆様方には何かとお世話になります。ですが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

“古希” おめでとうございます

(12名、敬称省略)

1911	八木 弥	4月18日
1941	青木 裕二	5月27日
1958	長友 芳正	6月19日
1996	山本 装司	7月10日
1991	増田 武司	7月30日
2012	福田 益美	8月 3日
2013	西岡 愷二	8月 4日
2014	平井 靖人	8月 4日
2015	粉川 昌三	8月 8日
2026	只友 将弘	8月26日
3116	田中 誠	8月29日
2042	前野 雄二	9月 8日

写真・メッセージをいただけなかった皆様は、
会員番号、氏名、誕生日のみ紹介いたします。

会員番号 氏名 生年月日

五五二二	徳永 研伸	一九四七年十月十六日生
五四七二	菅谷 岩男	一九五一年六月十六日生
五四九〇	磯田 道雄	一九四八年七月二十六日生
五五二一	小川 幹司	一九五一年八月五日生
五五六三	小川 廣志	一九四九年九月六日生

重要連絡事項

がある場合、自班幹事、又は
左記にお知らせください。

シャープ(株)AVシステム事業本部

平日 (大代表) 0287 (43) 1131

社友会 栃木支部 事務局 (内線289)

総務部 (内線2873)

夜間・休日 0287 (43) 1143

総務部保安

「最初に、「社友会の〇〇(又は〇〇の家族)」と
告げた上で、用件をお伝えください。」

表紙説明(写真は日光『滝尾神社』)

神橋から北へ2kmほど入った稲荷川北側にあり、
弘仁十一年(820)に弘法大師により創建された
神社で、日光史跡探勝路のなかでも見逃せない所。
日光山内の多くの建造物同様に重要文化財に指定
されている。

志賀 実

編集後記

編集長 交代に際して

「nikko」第29号をお手許にお届け出来る
事を感謝します。

平成元年に栃木支部発足以来支部機関誌の発行が
待たれていたが、支部発足十周年の記念号として創
刊、以来年2回の発行を重ね今日を迎えています。

創刊には故三友 宏章さんをはじめ、「パソコンク
ラブ」の有志などが編集に携わって来ましたが、平
成17年三友さんが病床に付かれた為、編集長を担
当させて戴き、通算13年の編集・発行業務を務めさ
せて頂きました。

機関誌の使命を果たす為にも、支部組織としての
役割分担を明確にする事から始まると思いと、今
回、増田支部長を中心とした体制も整えられた事か
ら、副支部長の荒田 英治さんを新しく編集長として
「nikko」を「担当頂くこととなりました。
支部機関誌としての役割は大きく、会員の皆様が
育て発展することが肝要と思います。どうか今後と
も暖かく意思交流の場として「nikko」が
益々成長出来ますようお願いいたします。
長年のご協力を感謝しお礼と致します。
ありがとうございます。

仲谷 輝郎

初めて会報の編集長という重責を担うことになり
本人はもとより、今まで担当頂いていた編集委員の
皆様も29号が上手く発行できるか心配で気苦労が
多かったことと思っております。

今号へ寄稿頂いた会員皆様方のご協力と、仲谷前
編集長、編集委員のご支援により何とかお手許にお
届けできる運びとなり正直ホッとしています。

今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

荒田 英治

シャープ SGC 活動(下草刈り)に参画の会員



シャープの森n矢板(平成 23 年 6 月 4 日)



川崎城跡(平成 23 年 10 月 1 日)

秋の日帰りバス旅行・北向き観音・善光寺参り(平成 23 年 10 月 22 日)



善光寺前の記念碑に見入る会員



善光寺山門前で説明員に聞き入る会員



善光寺の宿坊で昼食懇親食事会



北向き観音で祈願中の会員



善光寺境内にて参加された会員